

平成30年度（2018年度）年次報告書
系統アクセス業務に関する前年度までの実績
（平成29年度の受付・回答分）

平成30年5月
電力広域的運営推進機関

電力広域的運営推進機関（以下、広域機関という。）にて規定している業務規程第181条において、系統アクセス業務に関する前年度までの実績について取りまとめ、公表することを定めている。

今回、平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）の系統アクセス業務に関する実績（受付及び回答状況）を取りまとめたので、公表する。

なお、本資料は平成29年度の受付及び回答状況の取りまとめであることから、引用する業務規程及び送配電等業務指針（以下、規程等という。）の条文は、同年度末日時点で適用される規程等を用いる記載としている。また、本資料が用いる電気事業者の類型は、平成29年度末日時点で施行されている電気事業法（昭和三十九年七月十一日法律第百七十号）に規定される定義を用いる記載としている。

また、本資料における「東京電力パワーグリッド株式会社」の事業者名称は、「東京電力PG」と記載する。

1. 対象電源

平成29年4月1日以降に広域機関及び一般送配電事業者において系統アクセス業務に係る受付または回答を行った最大受電電力500キロワット以上の発電設備等の案件を対象とする。

ただし、調査期限末日時点（平成30年3月31日）において回答予定日を超過して継続検討中（未回答）である接続検討の案件の総数に限り、平成27年3月以前に受付を行った案件も含め集計している。

2. 集計結果

2-1. 事前相談

(1) 受付件数（受付会社別）【事前相談】

平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）に受付を行った事前相談の件数は以下のとおり。

なお、広域機関及び各一般送配電事業者における受付件数の月別推移については、別紙1に示す。

表1 事前相談受付件数 及び 昨年度との比較

受付会社	平成29年度 [件]			(参考) 平成28年度 [件]			増減[件] H29-H28
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
広域機関	111	—※1	111	333	—※1	333	▲ 222
北海道電力	214	1,378	1,592	140	497	637	955
東北電力	650	1,879	2,529	625	1,080	1,705	824
東京電力PG	567	4,829	5,396	487	3,395	3,882	1,514
中部電力	454	3,682	4,136	412	3,060	3,472	664</

2-2. 接続検討

(1) 受付件数（受付会社別）【接続検討】

平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）に受付を行った接続検討の件数は以下のとおり。

なお、広域機関及び各一般送配電事業者における受付件数の月別推移については別紙2に示す。

表2 接続検討 受付件数 及び 昨年度との比較

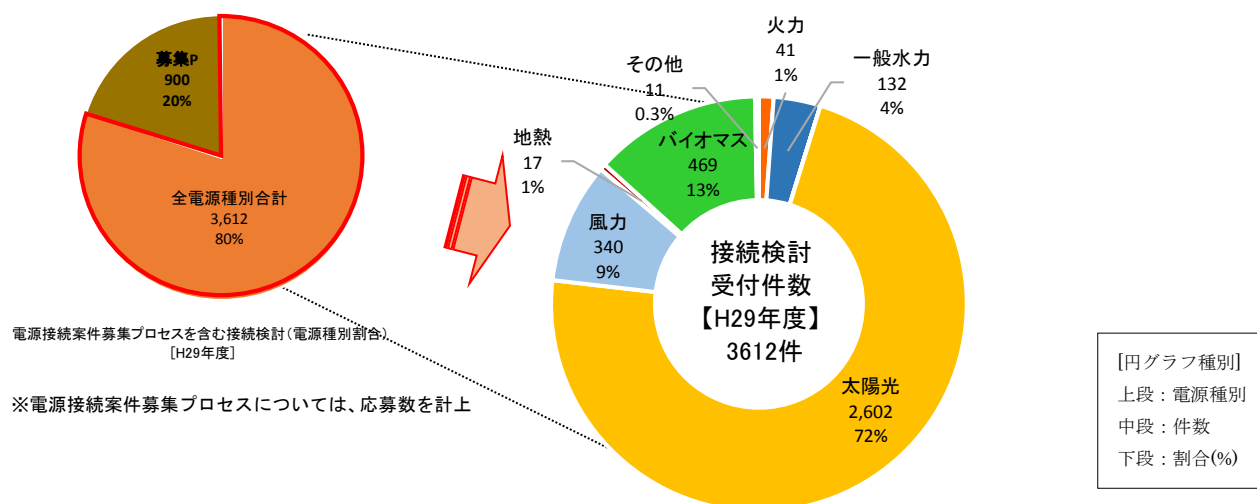
	平成29年度 [件]			(参考) 平成28年度 [件]			増減[件]
受付会社	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	H29-H28
広域機関	53	—※1	53	83	—※1	83	▲ 30
北海道電力	156	167	323	29	77	106	217
東北電力	166	277	443	231	184	415	28
東京電力PG	95	990	1,085	128	683	811	274
中部電力	88	397	485	62	391	453	32
北陸電力	39	79	118	36	66	102	16
関西電力	73	281	354	88	224	312	

(2) 電源種別件数（一般送配電事業者エリア別。以下、エリア別）【接続検討】

平成29年度(平成29年4月～平成30年3月)に受付を行った接続検討の電源種別の件数は以下のとおり。
広域機関にて受付を行った案件については、系統連系を希望する各エリアに計上している。

なお、各エリアの電源種別件数の月別推移および電源種別割合については別紙3に示す。

※1 接続検討1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、接続検討の受付件数の合計値とは一致しない場合がある。



(3) エリア別連系希望容量及び供給希望先【接続検討】

平成29年4月以降に受付を行った接続検討のエリア別連系希望容量とその供給希望先は以下のとおり。

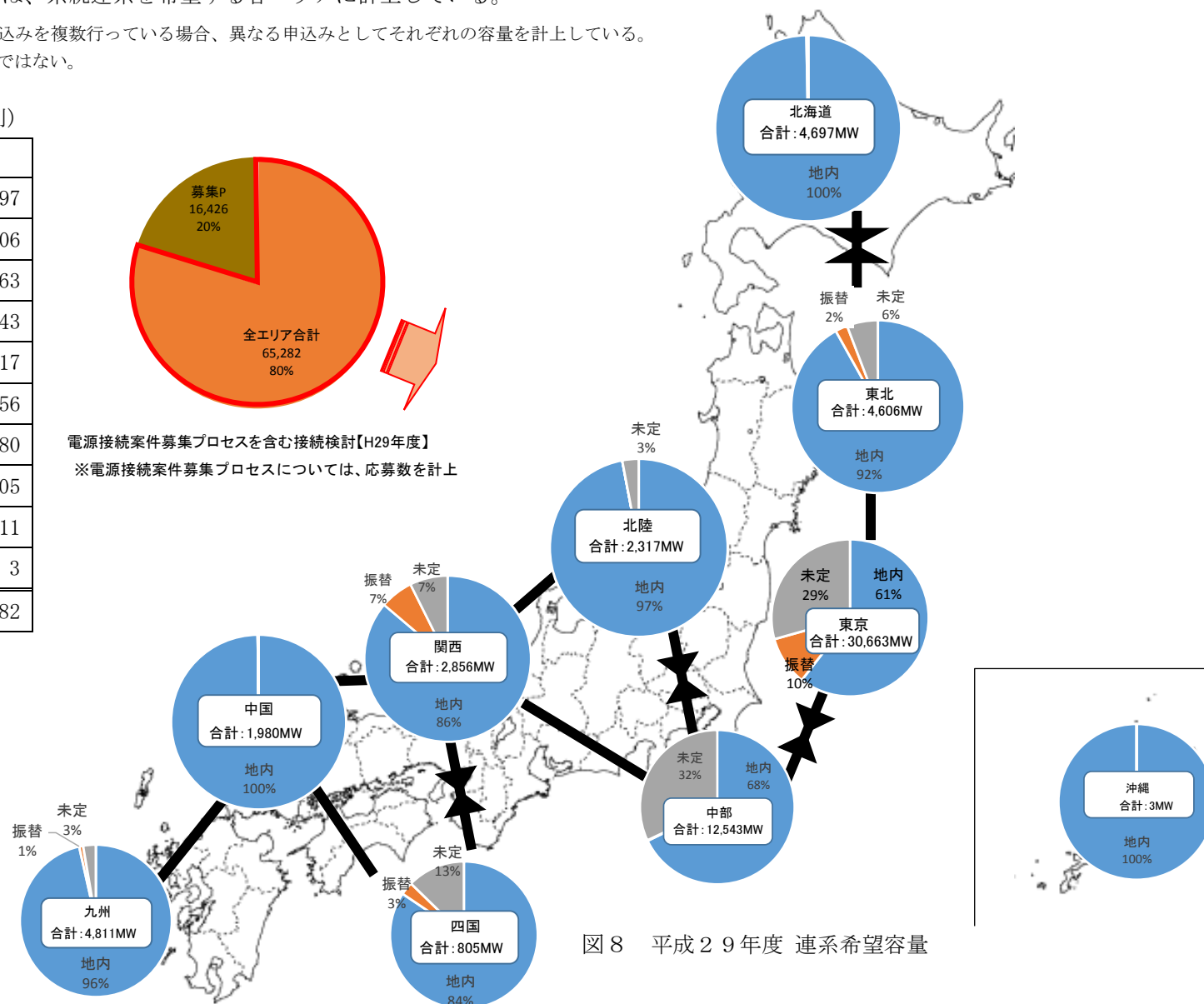
なお、広域機関にて受付を行った案件については、系統連系を希望する各エリアに計上している。

※1 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合、異なる申込みとしてそれぞれの容量を計上している。

また、この連系希望容量全てが系統に連系されるものではない。

表3 平成29年度 連系希望容量(エリア別)

対象エリア	連系希望容量 (MW)
北海道	4,697
東北	4,606
東京	30,663
中部	12,543
北陸	2,317
関西	2,856
中国	1,980
四国	805
九州	4,811
沖縄	3
合計	65,282



####

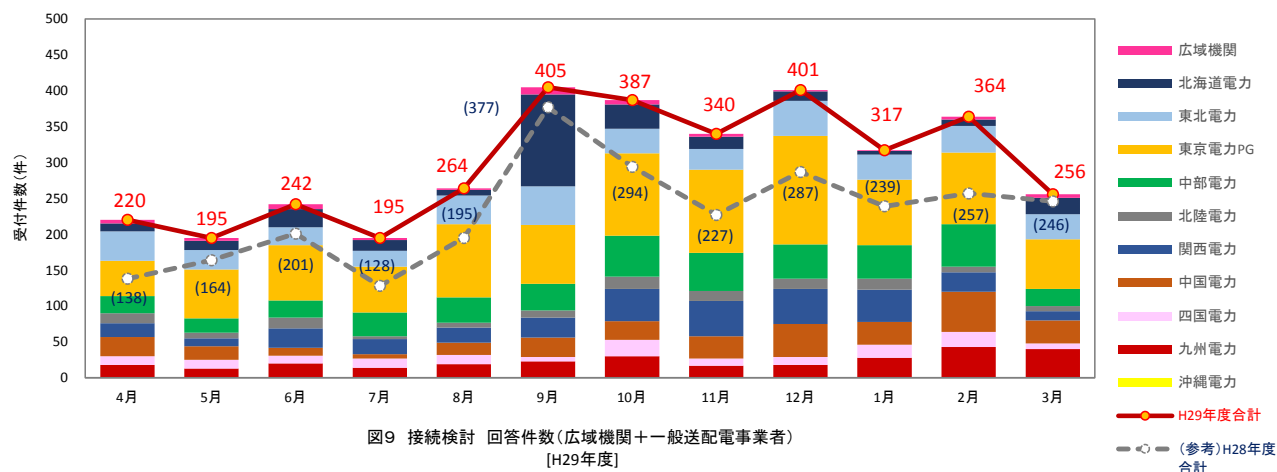
I. その他（複数要因含む）

上記以外の理由によるもの

- ※1 近隣の電源接続の可能性を募り、複数の電気供給事業者により工事費負担金を共同負担して系統増強を行う手続き。
 ※2 広域系統整備計画の策定に当たって必要となる手続き。

表4 接続検討 月別回答件数 [件]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成29年度	220	195	242	195	264	405	387	340	401	317	364	256	3,586
(参考)平成28年度	138	164	201	128	195	377	294	227	287	239	257	246	2,753



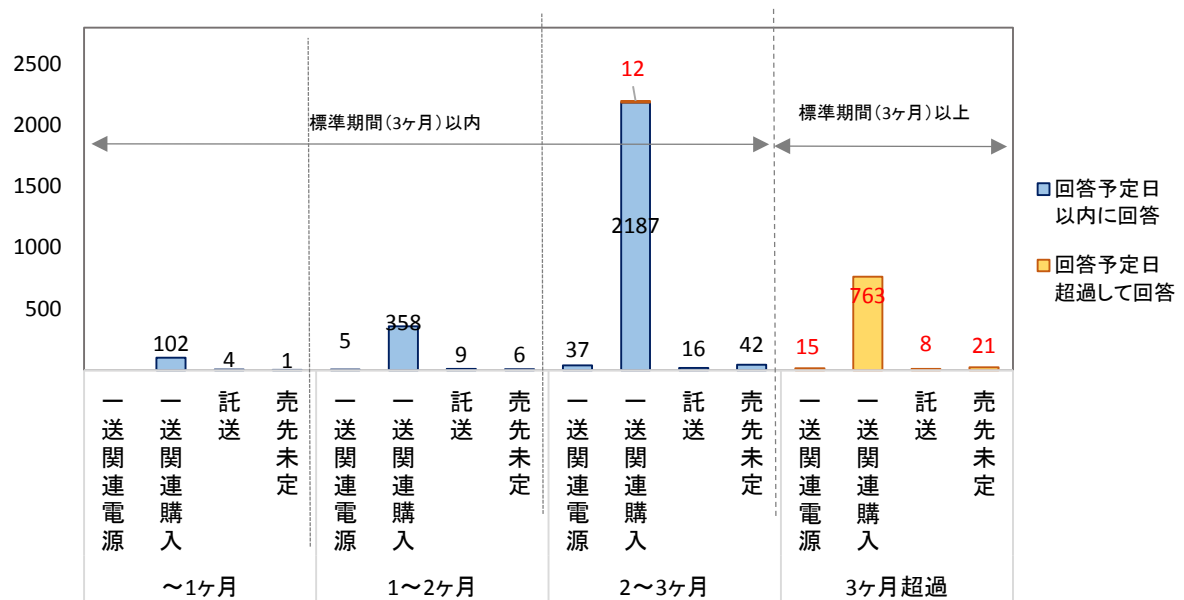


図10 接続検討 回答件数及び検討期間実績(広域機関+一般送配電事業者合計)
[H29年度]

表6 接続検討 回答予定日超過の理由 [H29.4~H30.3]

		一送関連 電源	一送関連 購入	託送	売先未定	合計
超 過 理 由	A. 申込者都合(申込書不備					

(5) 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）の状況【接続検討】

平成30年3月末時点において回答予定日を超過し、かつ検討継続中（未回答）である件数は以下の通り。
 なお、ここでは平成27年3月以前に受付を行った接続検討の案件を含め調査した。
 各都道府県別の状況については別紙5に示す。

【回答予定日超過（検討継続中(未回答)）の主な要因】

- ・申込者において申込後に申込内容の変更等を行ったため
- ・一般送配電事業者において検討事項が多岐に亘り、検討に時間を要しているため
- ・申込者による申込書不備（必要検討資料の未提出等）により時間を要しているため

表7 接続検討 回答予定日超過件数※1（検討継続中※2）

受付会社	平成29年度末時点	平成28年度末時点
広域機関	3※3	6
北海道電力	10	10
東北電力※4	6	3
東京電力P G	52	50
中部電力	7	3
北陸電力	1	3
関西電力	5	4
中国電力	2	0
四国電力	2	1
九州電力※5	16	16
沖縄電力	0	0
合計	104	96

※1 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。

(6) 電源接続案件募集プロセスの実施状況

平成30年3月末時点における電源接続案件募集プロセスの実施状況(平成27年4月からの累積値)は以下のとおり。なお、募集要綱が決定された案件については、募集対象エリア(市町村)を別紙6に示す。

【実施中案件】

表8-1 電源接続案件募集プロセス 実施案件一覧

対象 エリア	件数※1	募集対象	主宰 者	開始 決定日	募集要綱 決定日	プロセス 完了予定
東北	4 件	青森県八戸エリア	東北 電力	平成 28 年 7/19	平成 29 年 1/18	平成 30 年 7 月上旬頃
		東北北部エリア	広域 機関	平成 28 年 10/13	平成 29 年 3/9	検討中 ※2
		宮城県白石丸森エリア	広域 機関	平成 29 年 2/13	平成 29 年 4/12	平成 30 年 6 月中旬頃
		福島県会津エリア	広域 機関	平成 29 年 9/1	平成 29 年 10/25	平成 30 年 10 月下旬頃
東京	1 件	栃木県北部・中部エリア	東京 電力 P G	平成 27 年 10/27	平成 27 年 12/25	検討中 ※3
中部	1 件	岐阜県北エリア	広域 機関	平成 29 年 3/6	平成 29 年 5	

対象 エリア	件数※1	募集対象	主宰 者	開始 決定日	募集要綱 決定日	プロセス 完了予定
		熊本県阿蘇・大津エリア	広域 機関	平成 29 年 2/15	平成 29 年 5/31	平成 30 年 7 月中旬頃
合計	18 件					

※1 電源接続案件募集プロセスの申込み受付件数ではなく、電源接続案件募集プロセスが開始された案件を集計。

※2 経済産業省の「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会 系統ワーキンググループ（第 13 回）」において、応募者様の事業性判断に必要な時間を確保すべきとの意見があり、これを踏まえ本プロセスの進め方について、現在検討を進めている。

※3 事業者様の辞退により確定してない。

2-3. 契約申込み

(1) 受付件数（受付会社別）【契約申込み】

平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）に受付を行った契約申込みの件数は以下のとおり。
 なお、各一般送配電事業者における受付件数の月別推移については別紙7に示す。

表9 平成29年度 契約申込み 受付件数 及び昨年度との比較

[件]

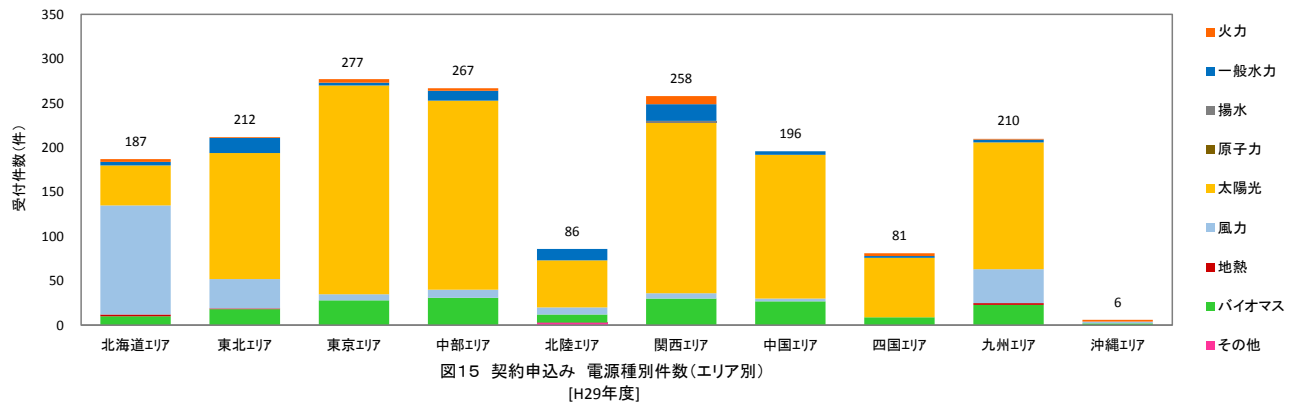
受付会社	特別高圧	高圧	合計	(H28) 合計	H29-H28
北海道電力	127	60	187	37	150
東北電力	92	119	211	215	▲4
東京電力PG	23	254	277	538	▲261
中部電力	43	224	267	357	▲90
北陸電力	22	64	86	83	3
関西電力	52	204	256	233	23
中国電力	28	168	196	147	49
四国電力	9	70	79	71	8
九州電力	46	164	210	177	33
沖縄電力	3	3	6	5	1
合計	445	1,330	1,775	1,863	▲88

(2) 電源種別件数（エリア別）【契約申込み】

平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）に受付を行った契約申込みの電源種別の件数は以下のとおり。

なお、各エリアの電源種別件数の月別推移及び電源種別割合については別紙8に示す。

※契約申込み1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、契約申込みの受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

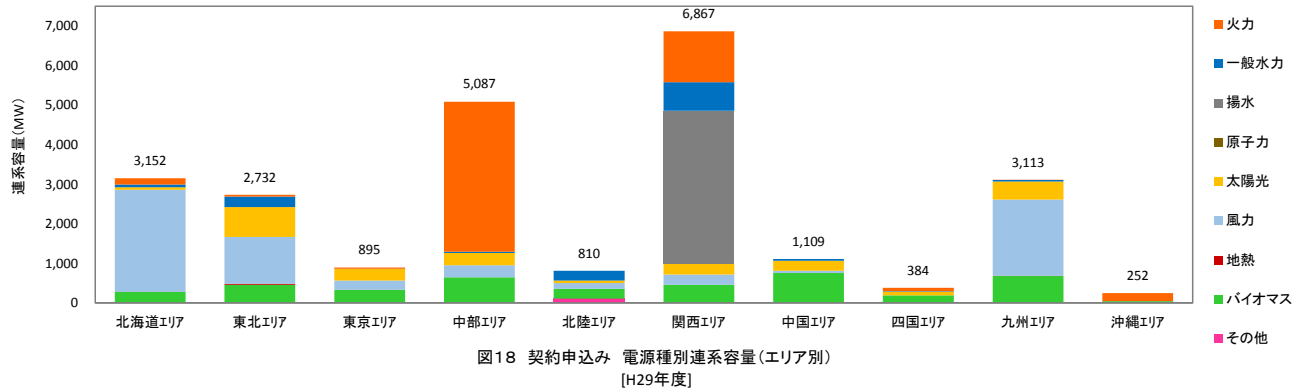


(3) 電源種別連系容量（エリア別）【契約申込み】

平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）に受付を行った契約申込みの電源種別の連系容量は以下のとおり。

なお、各エリアの電源種別連系容量の月別推移及び電源種別割合については別紙9に示す。

※端数調整の関係から、エリア別の合計値と電源種別割合の合計値は一致しない場合がある。

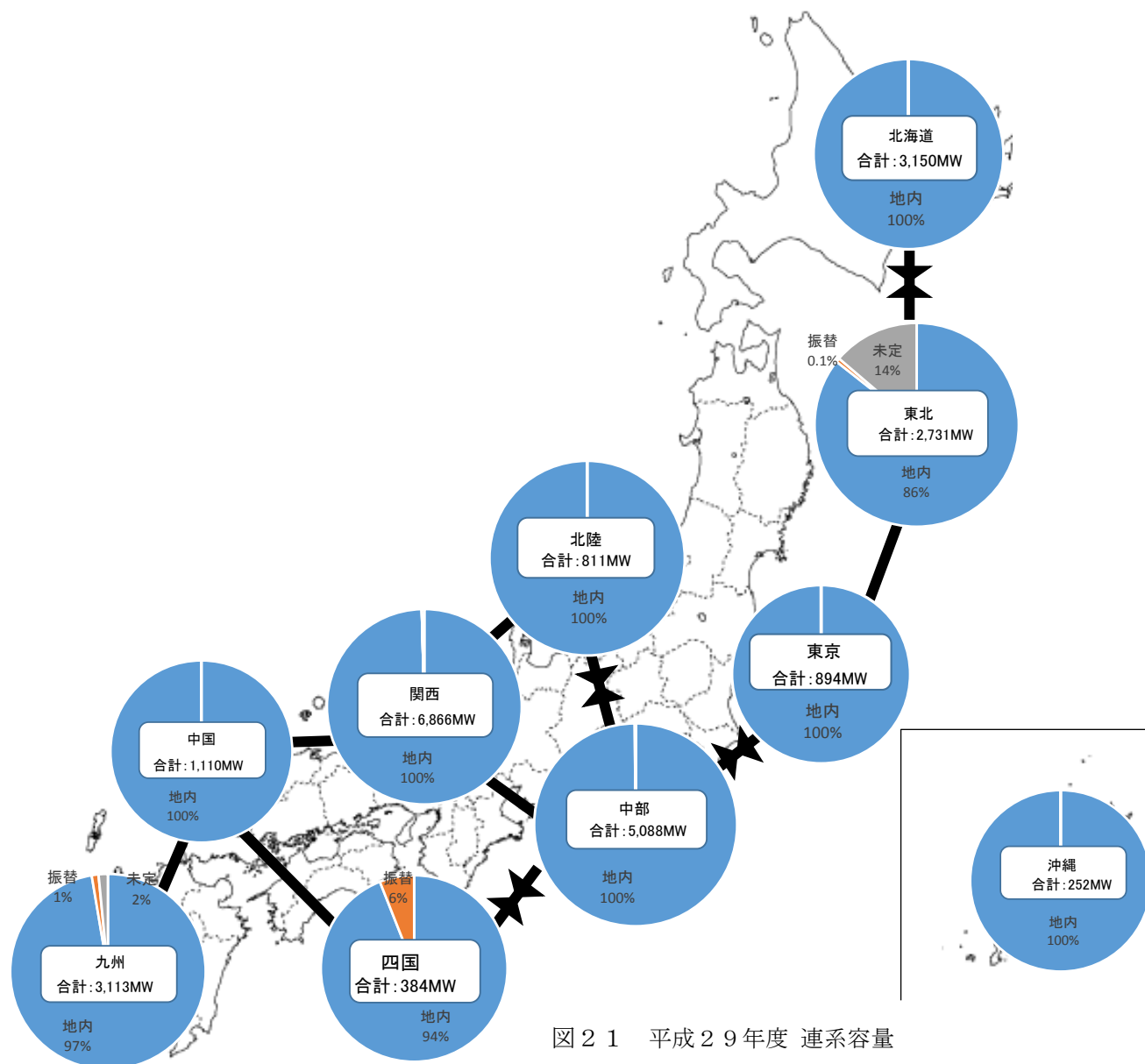


(4) エリア別連系容量及び供給先【契約申込み】

平成29年4月以降に受付を行った契約申込みのエリア別連系容量とその供給先は以下のとおり。

表10 平成29年度 連系容量(エリア別)

対象エリア	連系容量 (MW)
北海道	3,150
東北	2,731
東京	894
中部	5,088
北陸	811
関西	6,866
中国	1,110
四国	384
九州	3,113
沖縄	252
合計	24,401



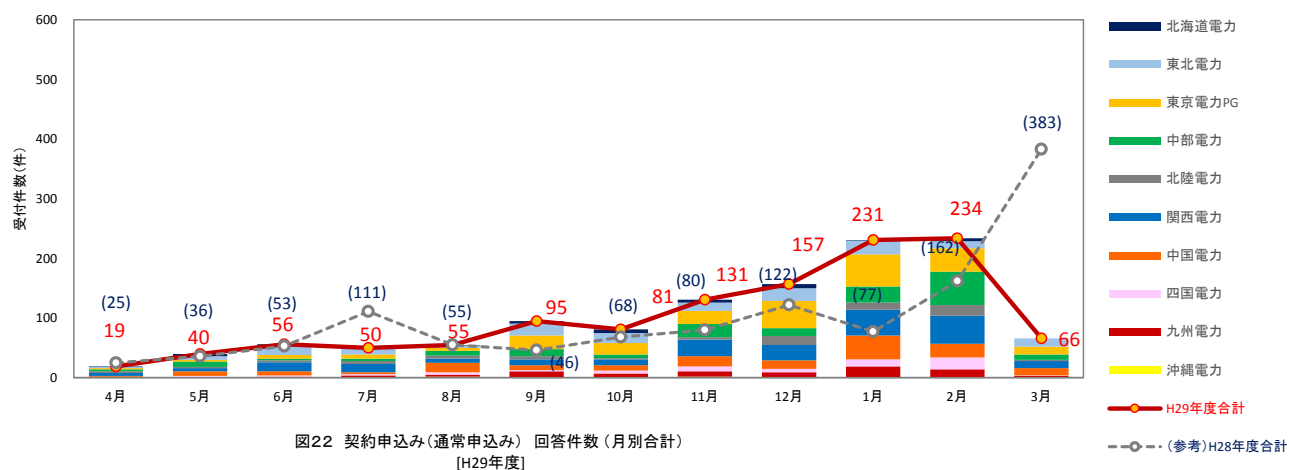


表 1 2 契約申込み 検討期間実績 (通常申込み) [H29. 4～H30. 3]

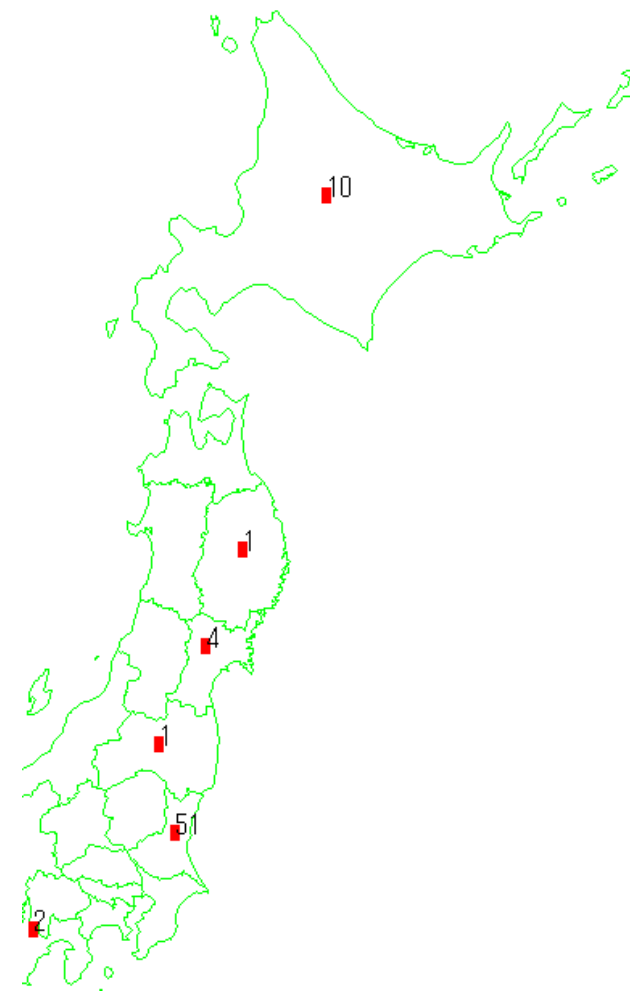
			一送関 連電源	一送関 連購入	託送	売先 未定	合計 <比率>
検討 期間	標準 期間 以内	3ヶ月以内	34 (1)	646 (2)	20	5	705 (3) <58.1%>
		3ヶ月超～6ヶ月以内	10	388 (4)	4	8	410 (4) <33.7%>
	標準 期間 以上	6ヶ月超	3	84	4	0	91 <7.5%>
		合意期間※2	1	7	1	0	9 <0.7%>
合 計			48 (1)	1,125 (6)	29	13	1,215 (7)

別 紙

別紙５ 回答予定日超過案件（検討継続中(未回答)）件数（平成３０年３月時点）

① ５０Ｈｚエリア

都道府県	検討継続中件数	主な要因
北海道	10	申込集中により検討が輻輳しているため
青森	0	—
岩手	1	申込書に不備があり，検討に時間を要しているため
宮城	4	系統状況に変化が生じたことに伴う再検討を要するため
秋田	0	—
山形	0	—
福島	1	申込み後に申込内容の変更等を行ったため
新潟	0	—
茨城	51	申込み後に申込内容の変更等を行ったため
栃木	0	—
群馬	0	—
埼玉	0	—
千葉	0	—
東京	0	—
神奈川	0	—
山梨	0	—
静岡	2	申込書に不備があり，検討に時間を要しているため
合計	69	



参 考 資 料

